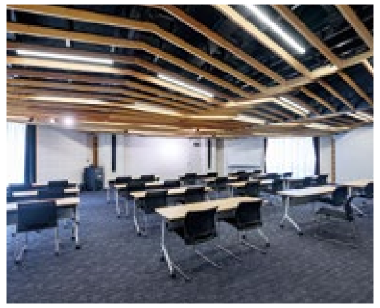
いいね！木づかい

自然素材の木を使った建物は、人にも環境にも優しいものです。
木が呼吸して湿度を自然に調整してくれるから、
快適な空気環境で過ごすことができます。
木のぬくもりを、見て、触って、感じて、心身ともにリラックスできます。
今、木材と他の素材を組み合わせることで
木の建物の可能性がグッと広がっています。

児童書コーナーに置かれたテーブルには、香美市産のスギ、ヒノキ、カツラ、ツガを使用。それぞれ色も手触りも違います。

『おはなしのへや』の床部分には、東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村宿舎で使用された木を再活用。靴を脱いでゆったり読書はいかが？

図書館なのにおしゃべりOK！



催し物などにも利用できる『つながるーむ』（要予約）。

周辺環境に配慮して高さを抑えた屋根の形が特徴的。

本の森へようこそ 香美市立図書館 かみーる

RC ＋ 鉄骨 ＋ 木

※RC：鉄筋コンクリートの略

素材のコラボレーション

香美市土佐山田町のあけぼの街道沿いに、香美市立図書館『かみーる』があります。こちらの施設は、異なる3つの構造を組み合わせる混構造と呼ばれる造りになっています。混構造にすることで、鉄、コンクリート、木材というそれぞれ3つの素材の長所を併せ持つ建築物をつくることができました。

天井の三角形に組まれた部分に使用された木材が、見た目の美しさだけでなく、建物を支える役割もしています。こちらはすべて香美市産のスギです。そこに強度面で安定感のある鉄、コンクリートが加わることで、木材の可能性を最大限に引き出しています。

香美市の木に触れる

家具や天井・壁など、館内のあらゆる部分を木質化することにより、木の存在感をより高め、安らぎとくつろぎを提供しています。書架の側板や天板などは、ほとんどが香美市産のヒノキで作られており、こうした地元の素材を使用することで、地域を元気にする効果も期待されます。

心もからだもリフレッシュ

門脇館長は、「香美市は森林率が88％で、地域の木に触れてほしいという思いがあって図書館のあらゆるものに、ふんだんに取り込みました。」と話します。

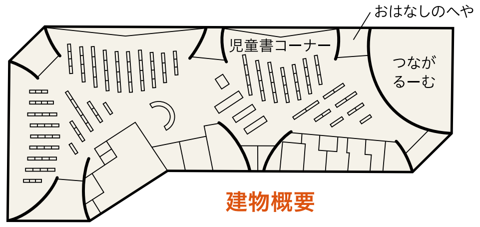
また、安らぎの中で心ゆくまで読書が楽しめるだけでなく、本を通じて、本と人、そして人と人をつなぐ場所になるよう、講演会や催し物に利用できる『つながるーむ』も設けられています。

森林浴をしているような感覚で、木に包まれて読書する時間は心が開放的に。この図書館では、子どもも大人も幸せな気持ちになれそうです。

左手が総合窓口。右手にある白い台は上部がフロアマップ。

香美市図書館 かみーる　門脇真里館長

木材をたくさん使用することで、解放感と安らぎを感じられる、図書館にぴったりの建物になりました。本を届けるのはもちろん、本を通じて、本と人だけでなく、人と人を繋ぐことを大事にしたいと思っています。本を借りるだけでなく、来館者の憩いの場であり、また来たいなと思ってもらえる図書館であり続けたいです。



建物概要

- オープン／2022年11月
- 設計／東畑・依光建築設計企業体
- 施工／大成建設株式会社

香美市立図書館 かみーる

住所／香美市土佐山田町楠目736　TEL／0887・53・0301
利用時間／［平日］10:00〜19:00 ［土曜・日曜］10:00〜18:00
休館日／月曜、祝日、毎月第3木曜（館内整理日）、年末年始（12/29〜1/4）
駐車場／47台（思いやり駐車場2台）　駐輪場／45台　バイク置場／6台

https://www.city.kami.lg.jp/map/toshokan-y.html

この日の取材の様子はこちらから
もりりんチャンネル

YouTube　Instagram